

運行管理業務の標準機に！  
安全教育用卓上型ドライブシミュレータ導入 100社を超えました！

運行管理業務を支援する東海電子株式会社(本社:静岡県富士市 代表取締役:杉本 哲也)は、この度、卓上型ドライブシミュレータの販売実績(2015年3月～2021年7月)をお知らせいたします。

バス、タクシー、トラック等、運輸事業者は、事業法で義務づけられている法定診断以外にも、運転者や従業員に対して指導監督を行う義務が課せられています。ところが、現実的には、安全運転教育や指導の具体的な方法は、各事業者の運用に任されており、事故の有無、高齢者であるか否かを問わず、全社的な体系的・計画的・効果的なプログラムを構築できている事業者は、そう多くはないのが現状と思われま

す。また、仮に指導監督の一環として、一般診断(任意診断)を行うにしても、実施機関の設備には限りがあるため、受診予約しようにも、予約で一杯になるケースが多く見られるようです。

昨年、感染症予防の観点から実施機関が一般診断(任意診断)の受付が停止されたこと、旅客需要の減退によりドライバーへの教育時間の見直しの動きが各社にあったことを受け、卓上型ドライブシミュレータの引き合いがやや増えたものの、実績はここ数年伸び悩んでいる状況です。

累計導入企業数は、7月末時点で100社を超えました。

潜在的にはまだまだ体験型安全教育ツールとして需要があると考えており、今後認知活動を続けてゆく予定です。当社としては、今後、国土交通省による「事故防止対策支援推進事業」に、あらたに「非接触 指導監督に資する機器」の創設を働きかける予定です。

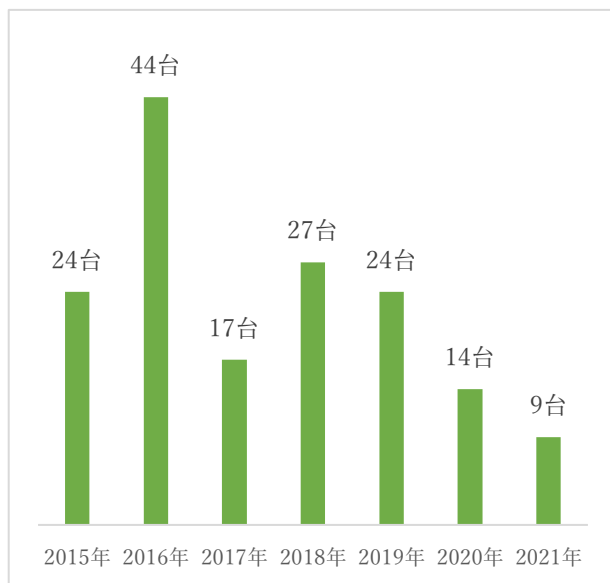
## 1. 導入実績

当社では2015年3月以降、企業が自社の安全教育や危険予知トレーニングを継続的に社内で実施できる体制をつくるため、ドライブシミュレータを設備として持つことを提案しています。約6年で下記のような実績となっています。

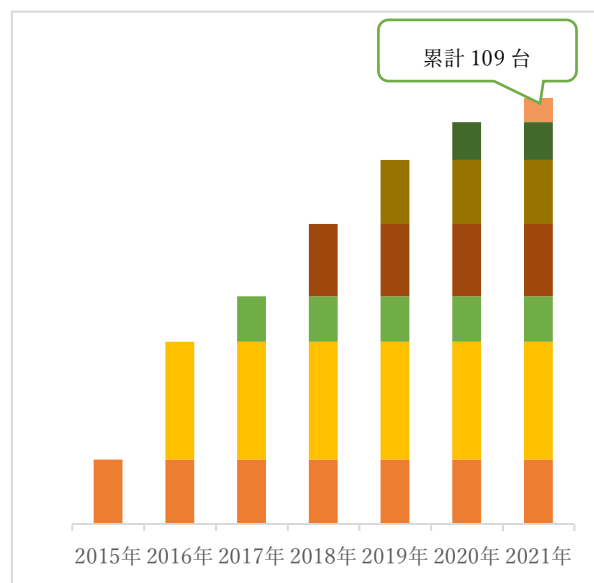
【卓上型・可搬型ドライブシミュレータ 累計実績(2015.3～2021.7)】

導入企業	導入台数	導入業種
109社	159台	トラック :92台 バス :4台 タクシー:2台 その他 :61台

【2015年3月～2021年7月 単年度\*】





【2015年3月～2021年7月 累計\*】



(\*いずれも1-12月集計)

## 2. ドライブシミュレータの価格と構成

卓上型・可搬型ドライビングシミュレータ ACM300 価格 900,000 円(税抜)		
	ハードウェア	①専用 PC ②診断結果用プリンタ ③ハンドル、アクセル(USB) ④専用ケース
		ソフトウェア(教材)
オプション教材(飲酒) : 120,000 円(税抜)		
オプション教材(中大型車) : 120,000 円(税抜)		

本製品は、適性検査ソフトや危険予知プログラムがインストールされた専用 PC とプリンタとハンドル・アクセルと専用ケースで構成されています。また、「卓上型・可搬型」であり、使用できる事業所を常に変えることを特徴としています。

### 3. レンタルプランのご案内

時期や目的に応じて、レンタルプランもご用意しています。

Aプラン	おためし無料体験コース	2週間。返送送料自己負担
Bプラン	6ヶ月レンタルパック	24万円
Cプラン	12ヶ月レンタルパック	42万円

ドライブシミュレータ レンタル専用ページ

<https://driving-check.site/>



### 4. 動画のご案内

製品の詳細、設置については以下をご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=nxWem5UFm7Q>

<https://www.youtube.com/watch?v=TkVxXcTvok0&t=26s>

本件に関する問い合わせ先: 東海電子株式会社 営業企画部

東京都立川市曙町 2-34-13 オリンピック第3ビル 203

E-mail: [kikaku@tokai-denshi.co.jp](mailto:kikaku@tokai-denshi.co.jp)

<http://www.tokai-denshi.co.jp>